

三、争議團ハ行商名ノ下ニ示威運動ヲ行ハントセリ

標記争議既報後ノ状況左記ノ通り

一、勞働者側

争議團ハ既報ノ如ク會社ノ團員切崩運動ニ因リ一時  
脱退者續出スル傾向ヲ示シ團員ノ意氣頗ル消沈シ居  
リタルカ東京鐵工組合幹部熊本虎藏團長佐々木彌左  
エ門等演説會ヲ開キ或ハ連判状ヲ作成スル等ノ方法  
ニ依リ極力結束ニ努メタル結果漸ク其後ノ脱退者ヲ  
防止スルコトヲ得團員約一六〇名ヲ擁シテ依然會社  
ニ對抗中ナリ争議團ノ行動次記ノ通り

(1) 演説會等

六月三日午后二時ヨリ争議團本部ニ於テ争議批判

演説會ヲ開催聴衆約二百五十名(團員一五〇名友  
誼團體員一〇〇名)ニシテ佐々木團長外二十八名  
登壇會社ノ態度ヲ難シ團結ノ必要ヲ力説シタルカ  
論旨矯激ニ直リ中止ヲ命セラレタル者八名アリタ  
ル外格別ノ事故ナク五時散會セリ

尚争議團ニ於テハ團員ノ無聊ヲ慰ムル為メ附近池  
動瀉真館ニ団体見物ヲ催シタル外時々争議團本部  
ニ於テ團員ノ演藝會ヲ催シ居レリ

(2) 連判状

既報争議團幹部會ノ決議ニ基キ團員ハ争議團ヲ脱  
退セサルコトヲ誓約スル旨ノ連判状ヲ作成團員全  
部ニ署名捺印セシメタリ